

# 善意というより世話好きなんです

## 瀧川菊四さん

瀧川菊四さん、昨年町の自治功  
労者として表彰を受けられた。功  
績は「二十余年間にわたり、寝た  
きり老人に毎年おむつや毛系の肩  
掛などを贈り、また  
国内外の被災地に卒  
先して義援金や衣類  
などを送り続けてい  
る」。

「お恥ずかしい限  
りです。たいしたこ  
ともしていないのに  
公になつてしまつて」と  
と瀧川さん。昭和四  
十一年に黒埼町立立  
に越してきた。子育  
てが終わり家を建て、  
これからのんびりと、  
と思つていた矢先、  
ご主人の久治さんが  
急死された。

十九年から二十余年間、「まあい  
ろいろしました。青少年、婦人会、  
赤十字、隣組、町主催の、演芸大  
会とか運動会とかカルタ会。それ

「わたし、善意とかじゃないと  
思ふんです。おせっかいなんです」  
立仏の前は新潟市弁天町に。昭和



編み物に精を出す瀧川さん  
新潟市弁天町で、昭和40年ころ  
左が久治さん  
昭和27年 PTA活動で表彰される

「主人の遺言だつたんです。学  
校に寄付してほしいと。それをわ  
たしにできることで続けているん  
です。お金といつてもお金持ちじ  
やありませんし、和裁とか編み物  
が好きでしたから、おむつとかマ  
フラーとか肩掛を作っているんで  
す」。主に冬、こたつに入りながら  
裁縫に精を出す。おむつは約二十  
反、二百枚ほどになる。「ひまだ  
から」と言うが、これを二十年続

### ほんの一冊

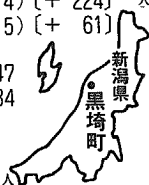
#### 友よ映画よ (話の特集社) 山田宏一



昨年暮れ、新潟市  
に市民映画館が、映  
画ファン1000人の手  
で生まれました。映画への熱意が映画館を作  
らせたのではこの先不安です。今、映画は熱  
意ではなく敬意すべきものなのです。  
それはこの本が教えてくれます。1960年代、  
映画が映画であることに自信を失いかけてい  
たとき、敬意を払って映画を作り始めた映画  
作家たちは映画の新しい波＝スーパーバグ  
を引き起こしました。著者は同時代を彼らと  
ともに生きた羨望すべき映画人です。ゴダ  
ール、トリュフォー、アンナ・カレーナetc…  
夢のような書物です。映画について書かれた  
最も美しい書物です。(紹介者：五十嵐政人)

に歌と踊り。みんな自分たちでし  
たんです。毎日お祭りみたい。  
昔はどこでもそうだった。コミ  
ュニティなど言われなくても地域  
に熱気があった。どこの町内でも  
世話好きのおばさんが一人や二人  
はいたものだ。瀧川さんもそんな  
一人だったのかもしれない。  
「わたしね、五泉に生まれて七  
人姉妹の四番目。小さいとき里子  
に出されたんです。長野の塩尻の  
旧家。とても礼儀作法が厳しくて、  
お茶、お花、料理、和裁、女が必  
要なものみんな仕込まれました。  
おかげでずいぶん助かりました。  
苦勞が当たり前でした」。  
「自分で難儀してきたから、人  
様のこと、見て見ぬふりができな  
いんです。つい、口を出したり手  
を出したりしちゃうんです」。  
「ボランティアですか」と聞く  
と「こんなことがボランティアな  
んでしょかね」と笑つて答えら  
れた。

〈人の動き〉		前年比		前月比	
1月末日現在	(前月比)	前年	前月	前年	前月
人口	22,188 (+14)	360	360	136	136
男	10,884 (+10)	224	224	61	61
女	11,304 (+4)				
世帯	5,753 (+5)				
1月1日	出生	47	47		
1月1日	転入	34	34		
1月1日	転出				
1月1日	死亡				



町民世論調査の結果で予想を大きくは  
ずれたものがあります。それは回答率で  
す。過去最低は57年の四八%。悪くても  
五十%を超えると思つていたので、結  
果は大きく下回つて三・五%です。あ  
らゆる設問以上にこの数字は重い気が  
します。千人のうち六百八十五人から反  
がなかった。行政はダイレクトメールで届  
く通信販売のカタログと違いますが、皆さ  
んは納税者なのです。税金を納めて黙っ  
ていては損ではありませんか。  
今号は二色刷りです。決算期で予算が  
余つたわけではありません。当初から、  
町民アンケートと決算はグラフを多用す  
るので計画していたのです。経費は二割  
ほどのアップでとどめました。  
一月に全国の先進地といわれる広報紙  
を三十紙ほど頼んで頂きました。二色が  
多いのです。広報くろさきならこう色を  
使うと意気込んでしまいました。それに  
しても、全国の広報か。宮崎和夫さん  
敬意を5ページに表します。

【先号の表紙】  
「一九八六年、わたしは……四人で演  
劇サークルを作りました。早く科白(セ  
リフ)を覚えたいです。(白井秀幸さん)

【今号の表紙】  
全国には三千以上の市町村があります。  
山の町、海の町、平野の町。都会、田舎  
過疎の町、ベッドタウン；見た目は違  
いますが、人が住んでいない町はありませ  
ん。人がいるから町があるのです。お店  
があるのです。そして、行政があるのです。  
人に見せられる顔じゃないと撮影を拒  
まれた滝沢良文さん、あなたの「住めば  
都といわれるが……」の一言を表紙のコピ  
ーにさせていただきました。

【来号の表紙】  
春ですので「**新一年生**」を募集し  
ます。小学校から大学  
第二の人生まで、ご連絡ください。

